

第1回試験（土木） 2018年度入庁 西三河水道事務所 技師 飯吉さん

○入庁のきっかけ

インフラ整備について、計画の立案から維持管理まで幅広い分野の業務に携わることができることに魅力を感じたことと、大学で学んだことを地元のために活かしたいと思ったため、愛知県職員を志望しました。



○業務の内容

西三河水道事務所では、主に西三河地域へ水道用水及び工業用水を届けています。私が所属している建設課では、安定供給のために、浄水場施設・管路施設の更新や、耐震化に関する設計や工事の発注、監督業務を行っています。



○愛知県庁で働く魅力・やりがい

約3年で異動があるため、様々な地域で様々な職員と仕事ができることに魅力を感じています。また、企業庁での業務は土木だけではなく電気、機械等幅広い分野の業務を経験することができます。専門分野を活かすことができることに加え、専門外の知識を得られることも魅力です。



○皆さんへのメッセージ・アドバイス

企業庁では施設の維持管理や修繕・建設工事、浄水場で生活や産業に欠かせない水道用水・工業用水を作るなど多種多様な業務があり、様々な経験をすることができます。そのため業務を進めていく上で勉強は欠かせませんが、その分人として、また、技術者として成長できると思います。



(掲載内容は2024年度当時のものです。)